

## 2024年度入学記念 プロジェクションマッピング

湘南藤沢キャンパス（SFC）2024年度入学記念プロジェクションマッピングを、武田圭史研究室とSFC生有志が制作しました。

新入生の門出を祝福し、夜のSFCの校舎を鮮やかなプロジェクションマッピングが彩りました。



校舎に投影されたプロジェクションマッピング

## 志木高等学校 75年記念式典

3月9日に志木高等学校の新施設「光彩館」の多目的ホールにて、志木高等学校75年記念式典を開催しました。式典は、伊藤塾長をはじめ、塾内外の多くの来賓の方々に出席していただき、式典後には場所を光彩館玄関前に移して、記念植樹のセレモニーを行いました。



# 慶應義塾のこの1年

塾員の皆さまにもお送りしている「社中特別号」にあたり、2024年にあった主な義塾のニュースをまとめました。各ニュースの詳細やその他の最新のニュースは、義塾Webサイト (<https://www.keio.ac.jp/>) 等で確認できますのでご参照ください。



## 大日本蹴球協会杯を返還

5月22日、体育会サッカー部が「大日本蹴球協会杯」を公益財団法人日本サッカー協会（JFA）に返還しました。

同杯は1935年から戦争による中断前の1940年まで、全日本蹴球選手権大会の優勝チームに持ち回り式で授与されていたものです。1941年以降は戦争の影響で大会が中止になり、戦後は新たな杯が制定されたことで、1940年の優勝以降サッカー部で保管されたままになっていました。2023年末にあらためて存在が確認され、80年以上の時を経てこのたびの返還が実現しました。



縣恵一・三田サッカー倶楽部会長（左）と  
宮本恒靖・日本サッカー協会会長



## 信濃町リサーチ&インキュベーションセンター(CRIK信濃町)開設

5月29日、信濃町リサーチ&インキュベーションセンターの開所式を開催しました。医療・ヘルスケア分野を中心とした幅広い領域の共同研究開発拠点として、起業を目指す幅広い世代が、先輩起業家、ベンチャーキャピタル、士業の方々と出会う機会を創出していきます。



## アンワル・イブラヒム・マレーシア首相 来塾

5月24日、マレーシアのアンワル・イブラヒム首相が三田キャンパスを訪問し、「A Feast of Civilisations: The Life and Mind of Toshihiko Izutsu」と題した講演を行いました。質疑応答では、会場の学生からマレーシア人と日本人の共生に関する質問などが投げかけられました。



## 国際刑事裁判所(ICC)赤根智子所長による講演会を開催

6月12日、国際刑事裁判所(ICC)の赤根智子所長が三田キャンパスを訪問し、慶應義塾大学との基本合意書(MoU)締結を記念して講演会を行いました。

国際社会における法の支配の重要性について力説され、多数の学生からの質問に対しても丁寧に回答してくださいました。



## 幼稚舎創立150周年記念式典

5月30日に日吉記念館にて「幼稚舎創立150周年記念式典」を開催しました。式典には、伊藤塾長をはじめ、塾内外の多くの来賓の方々や関係者約3,000名が出席しました。式典の後半では、150周年式典合唱団および幼稚舎生全員による創立150周年記念曲が披露されました。



## 一万円札 最終製造券贈呈式

7月3日に日本銀行本店で日本銀行券の贈呈式が行われ、植田和男総裁から伊藤塾長へ、一万円札の最終製造券が贈呈されました。

慶應義塾は創立者・福澤諭吉の肖像が印刷された1984年、2004年発行の一万円札2号券を日本銀行より贈呈されています。植田総裁は、これまで長きにわたり慶應義塾が2号券の記念展示を行うなど銀行券広報に協力してきたことへの謝意を表され、2004年発行一万円券の最終製造ロットにあたる「ZE300000X」の記番号券を伊藤塾長に手渡しました。



## オープンキャンパス開催

2024年度のオープンキャンパスは、学部説明・模擬講義を中心とする「講義編」と、大学説明会および在学生懇談会で構成される「学生生活編」の2つに分けた形式で開催しました。

6月30日・7月7日に日吉キャンパスで行われた「講義編」には約8,000名、8月1日・2日に三田キャンパスで行われた「学生生活編」には約1,600名が参加しました。キャンパス内の散策や多彩な在学生との交流を楽しむ姿が多く見られました。



## 慶應AIセンター設立

慶應義塾と研究メンバー企業9社が、次世代のAIをリードする「慶應AIセンター」を設立し、9月24日に開所式を行いました。

AI・ロボティクス研究で世界トップの米カーネギーメロン大学（CMU）とパートナーシップを結び、日吉キャンパスを拠点として、産業界を代表する研究メンバー企業と共同で、科学研究向けの生成AI研究およびAI技術の進化の加速を目指します。



## 7分野が世界150位以内にランクイン： 研究分野別QS世界大学ランキング

イギリスの大学評価機関であるクアクアレリ・シモンズ（QS）社から発表された研究分野別の世界大学ランキング2024版（QS World University Rankings by Subject 2024）において、慶應義塾大学は、個別分野では過去最多となる26分野が400位以内にランクインし、そのうち以下の7つの分野は世界150位以内に入りました。

- Classics & Ancient History（51～100位）
- Modern Languages（=82位）
- Geography（101～150位）
- History（101～150位）
- Law（101～150位）
- Politics & International Studies（101～150位）
- Economics & Econometrics（=125位）

## パリ2024オリンピック・パラリンピックで塾生・塾員・教員が活躍

パリ2024オリンピック・パラリンピックでは、多くの塾生・塾員・教員が活躍しました。

9月30日には三田キャンパス南校舎ホールにて塾長招待会を開催し、7名の選手と2名の監督が参加しました。

応援指導部による「若き血」の演奏とともに選手と監督が入場し、塾歌斉唱、体育会本部員からの花束贈呈や伊藤塾長の挨拶に加え、体育会部員から各選手と監督へのインタビューでは、アスリートならではの質問や回答があり、選手たちのユニークな一面もうかがえました。



## APRU Senior International Leaders' Meeting 2024開催

10月9日から11日にかけて、三田キャンパスにてAPRU（The Association of Pacific Rim Universities：環太平洋大学協会）Senior International Leaders' Meeting 2024が開催されました。

歴代最多となる44加盟大学から90名にのぼる参加者が出席し、“Learning without Limits”というテーマのもと、伊藤塾長による基調講演やパネルディスカッションを通して、激変する国際社会の中で高等教育が抱える問題やAPRUの活動の将来展望などについて、活発な議論が展開されました。



## 第713回三田演説会

三田演説会が2024年に発足150年を迎えました。福澤諭吉が日本に紹介した“Speech（演説）”を受け継いで150年の節目として、12月4日に作家・国文学者で塾員の林望氏による講演「幕末薩摩の若者たちと私一薩摩スチューデントを追って」を開催し、多くの来場者が熱心に耳を傾けました。



## 東京六大学野球秋季リーグ戦 早慶戦2連勝

11月9日・10日に行われた早慶戦で、慶應義塾体育会野球部は、1回戦9-1、2回戦2-1で2連勝を遂げました。白熱した試合に来場者も一体となって声援を送り、勝利の喜びを分かち合いました。



写真提供：慶應スポーツ新聞会